



2017 年度研究大会のお知らせ

特別支援教育制度におけるろう学校の スクールソーシャルワークの実現に向けて ～きこえない子ども達の未来のために～

今日の学校教育の現場では、子どもたちのいじめ、自殺、不登校、貧困等の社会問題が深刻化しており、学校・家庭・地域・専門機関との協働・連携が求められています。2015年、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会はソーシャルワーカーがこうした関係機関との連携・調整等を行う重要な役割を持つとして、全国の学校にスクールソーシャルワークの導入を進めていく方針を発表しました。障害のある子どもについても、学習上の困難に対する支援だけでなく、生活上の困難等にも対応していくことが求められ、各関係機関との協働・連携による教育体制の再構築が急務となっています。しかし、特別支援教育制度におけるろう学校でのスクールソーシャルワークは、制度としてはまだ実現しておりません。

当協会では、2013年度から、全国聴覚障害者相談支援事業「聴覚サポートなかま（以下、なかま）」（日本財団助成事業）での実践を通して、全国のろう学校にスクールソーシャルワーク実施の働きかけをお願いしています。

昨年度の研究大会では、一般校および特別支援学校におけるスクールソーシャルワークの実現への過程を学び、なかまの実践活動をもとに関係者間で意見交換しました。その結果、ろう学校でのスクールソーシャルワークの意義および必要性を確認することができました。

それを受けて、今回は「特別支援教育制度におけるろう学校のスクールソーシャルワークの実現に向けて」というテーマを設け、午前中は日本スクールソーシャルワーク協会の立場からご講演いただき、午後は現場関係者から支援の経緯、状況等を報告していただきます。さらに文部科学省関係者および専門団体等の方々からもご助言をいただきながら、制度化に向けてどのように進めたらよいか皆さまと共に考え、共通認識を深めたく思います。この企画にご関心のある方はぜひご参加下さい。

記

日 時 2017年6月18日（日）10:00～16:00（9時半受付）

場 所 東京大学 駒場キャンパス 18号館ホール（東京都）

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_02_j.html

時間・プログラム	内容
10:00～12:00 【基調講演】	テーマ：「スクールソーシャルワークの現状と課題（仮称）」 講 師：特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会副会長 日本社会事業大学准教授 内田 宏明 氏
13:00～16:00 【全体報告】	テーマ：「聴覚サポート『なかま』事業の支援活動4年を振り返って ～ろう学校スクールソーシャルワークの取り組みの意義と必要性～（仮称）」 ・（一社）日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会副会長 聴覚サポートなかま派遣コーディネーター 矢野 耕二 ・（一社）日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会事務局長 舘脇 千春

【現況報告】	報告者：秋田県立聴覚支援学校 進路指導主事 小林 宇文 氏 群馬県立聾学校(予定) 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター教授 大杉 豊 氏 助言者：文部科学省特別支援教育専門官（予定） 特定非営利活動法人 日本スクールソーシャルワーク協会副会長 内田 宏明 氏
【講評】	東京大学大学院 総合文化研究科教授 市野川 容孝 氏

※プログラムは変更することもありますのでご了承ください。

- <参加対象者> (一社)日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会会員
 聴覚障害児・者相談支援及び教育に関心を持つ関係者・手話通訳関係者、教育関係者
- <定 員> 100名 先着順
- <参加費> ・協会会員：無料
 ・一般（非会員）：1,000円 ※当日受付でお支払ください
- <参加申込み> 別紙申込み用紙に必要事項を記入後、事務局宛にメールまたはFAXを送信して下さい。
 申込み締切：平成29年6月5日 定員（100名）になり次第締め切ります。
- <後援団体（予定）> 公益社団法人 日本社会福祉士会
 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会
 一般財団法人 全日本ろうあ連盟
 一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
 公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構東京都聴覚障害者連盟



<会場までのアクセス> 本郷キャンパスではありませんのでご注意ください。

